

第48回 GRL浜松セミナー

日時：平成26年11月19日（水）16:00-17:30

場所：静岡大学浜松キャンパス総合棟31教室

未知転じて既知となる： 嫌気性アンモニア酸化細菌の発見がもたらした衝撃



長岡工業高等専門学校
助教 押木守 博士

未知への挑戦を夢見る学生の皆様、環境微生物学は格好の学術領域です。なぜなら、環境中に生息する微生物の9割は培養することができず、難培養性微生物の機能は、文字通り、「未知」だからです。私が現在研究している嫌気性アンモニア酸化細菌は約20年前にある偶然から発見された若輩ですが、地球化学の理解を更新するインパクトを生み続けています。また、近年のDNA解読技術の進展はゲノム診断を可能とし、ゲノム情報を切り口とした難培養性微生物の機能解明が脚光を浴びています。本講演では、微生物機能の探求をテーマに、嫌気性アンモニア酸化細菌を例にとりあげ、どのように嫌気性アンモニア酸化細菌が発見、研究され、我々の生活に役立てられるようになったのかをご紹介します。また、講演者が取り組んでいるゲノム情報にもとづく機能解析の研究やどういった解析技術が今後必要となるかといったトピックについて話題を提供します。

聴講無料、定員70名

連絡先： 工学研究科化学バイオ工学専攻 田代陽介 tytasir@ipc.shizuoka.ac.jp